

基本目標番号	施策番号	施策内容	担当課	KPI	実績の根拠	現状値(H27)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31実績	目標値(H31)	目標(H31)	評価	H31状況	H31課題・評価	総評
基本目標3 Yui(結 い)Yoi(良 い)Koi(来 い)でGood- Job！	施策1：地域の つながりとともに 育まれる子 育て世代への 支援	◆国の子ども・子育て支援法の施策により「阿南町子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。計画に基づき、ニーズに対応した施策を戦略的に実施します。	民生課 健康支援 係	①母親学級の 対象者の出席 比率・すくすく 広場の対象者 の出席比率	出席者/対象 者	37%	37	15	28	21	29	50	50%	△	妊婦を対象にした母親学級 H31 出席者4名÷対象者14名=0.2857 大下条保育園にて未就園児と親を対象にしたすくすくひろば H31 出席者28名÷対象者55名=0.5091	母親学級については年に3回しか実施できないため初産婦に関しては面談や電話訪問などの対応を行っている。 すくすくひろばについては、発達を確認するために5・6か月児の参加を促す通知を送付しているため参加数が微増している。	母親学級：母親学級同士の交流の場でもあるため、参加数は少ないものの継続していく予定。参加割合は目標には至らないものの徐々に改善してきている。妊婦の数は年々減少しているため妊婦のニーズに合わせて実施形態を検討していく。 すくすくひろば：未満児の未就園児が減っているが、保護者同士の交流の場、健診後のフォローアップの場でもあるため来もらえるように動機付けを行い参加者を今後も増やしていく。
		◆結婚、出産にかかる費用負担の軽減や、 妊娠等のケアを手厚く行い 、結婚や出産のしやすい環境整備を図ります。	教育委員 会 社会教育 係	②こども育成 会活動組織の 維持	①富草 ②大下条 ③和合 ④新野	4地区	4	4	4	4	4	4	4地区	○			
		◆子ども会・育成会等地域の連携を強化することで、深刻化した地域コミュニティの活性化を推進します。	民生課 健康支援 係	③中学生と赤 ちゃんのふれ あい教室開催 回数	実績	1回/校	1	1	1	1	1	1回/校	1回/校	○			
	施策2：安心し て妊娠・出産・ 子育てができ る環境の充実	◆子育てにかかる費用負担の軽減や、延長保育・学童保育等の子育て支援の環境整備を推進します。	教育委員 会 子ども教 育係	①子育て支援 計画策定に基 づく事前ニーズ 調査質問項目 現在の子育て について不安 を感じているか 設問で「特に不 安を感じていな い」回答の割合	不要	9.80%	9.8	-	-	-	3.59%	12	12%以上 にする	×	子育て支援計画策定に基づく事前ニーズ調査を令和元年8月に実施した。 該当する質問項目への回答割合は3.59%となった。	現状維持。	H27時の調査項目とH31時の調査項目に相違があり、より細かい不安要素を調査する内容となったため、目標値に対して実績は低下する結果となった。 令和元年度中に現在の計画の評価・検証を行うと共に、新たな支援計画を策定する。
		◆子どもに本を読む楽しみを知ってもらうためブックスタート事業等の、子どもに魅力ある事業や催しを行い、子どもの学ぶ意識の向上を行います。	教育委員 会 子ども教 育係	②発達障がい を持つ親を対 象に環境改善 の満足調査、 検討会を実施 【先行型】	実績	0回	0 6	随時 5	随時 9	随時 15	15	8	年2回	○			
		◆高等学校、大学、専門学校等の高等教育への費用負担の軽減を図ることにより、子ども達が高度な技術や知識を学べる環境を支援します。	教育委員 会 子ども教 育係														
		◆県立阿南病院の小児科を中心に、3箇所にある各診療所との連携を図り、安心して受診できる体制整備を行います。	教育委員 会 社会教育 係	③講演会、座 談会、音楽会 等のプログラム 回数【先行型】	実績	年4回	8	8 (16)	8 (24)	8 (32)	8 (40)	20	年4回	○			
		◆【先行型】発達障がい児の小中学校生活支援を行うために、臨時費金の拡充や発達障がい児の教育環境及び保育環境の整備を行います。	教育委員 会 子ども教 育係	④プログラムに 関する評価検 討会【先行型】	実績	年2回	2	2	2	2	2	10	年2回	○			
		◆【先行型】魅力ある保育環境を整え、普段田舎では触れることのない音楽会等の催しを行います。また、子育て世代、行政関係者が町の保育環境を検討するための講演会及び座談会を実施します。	民生課 健康支援 係	⑤県立阿南病 院への産婦人 科誘致に対し、 近隣町村と連 携した要望活 動の実施	不要	—	0	-	-	-	数値なし	指標無し					
		◆安心して出産ができる環境を整備するため、関係機関に対し、県立阿南病院への産婦人科の誘致について、近隣町村と連携した要望活動を行います。															

基本目標番号	施策番号	施策内容	担当課	KPI	実績の根拠	現状値(H27)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31実績	目標値(H31)	目標(H31)	評価	H31状況	H31課題・評価	総評
基本目標3 Yui(結 い)Yoi(良 い)Koi(来 い)でGood- Job !	施策3: 出 会 い・結 婚、若 者 の住 まいへ の支 援	◆若者が主催する催し等に積極 的に支援し、出会いの場や交流 の場をつくり、異性との交流を促 進させ恋愛や結婚への意識の高 揚を図ります。 ◆定住促進住宅の修繕、改築等 を計画的に行い、地域内居住や 二世帯住宅への新改築等が行え る環境整備を支援します。	総務課 企画財政 係	①出会いのイ ベント交流人数	イベントに参加 した人数	37人/回	200	100 (300)	0 (300)	69 (369)	64 (433)	190	延190人 以上のイ ベント参 加者	○	近隣市町村と連携した合同婚活イベント を名古屋市と売木村の星の森キャンプ場 で実施した。 名古屋市でのイベントでは、約40名、売 木村のイベントでは24名の男女が交流し た。	地域の未婚者の出会い系イベントの参 加意欲が低い。	名古屋市等の大都市圏でのイベントを 計画してきたが、未婚者の出会い系イ ベントの参加意欲が低いことが課題と考 えられるため、町内企業や事業所間との交 流会等、気軽に参加できる企画を考えて いきたい。
			建設環境 課 環境係	②定住促進住 宅入居棟数	徳質+地優賃+ 町営+おらホー ム	84棟	84	84	83	84	88	89 88	最大入居 棟数89棟 を維持す る	○	全住宅数88棟、公営住宅(低所得者向 け)5棟は実績に含めていない。 平成30年度に新野診療所住宅を売却し たため、最大入居可能棟数は88に減少し た。	住宅の老朽化が進み、修繕が多くなって いる。建替えが懸案ではあるが、町営住 宅全体での需要は満たされていると考 える。 生活形態の変化から、単身住宅の需要 は引き続き多い。	町全体での住宅数は需要に対してバラ ンスが取れているものの、古い物件が 残ってしまう状況がある。生活形態の変 化への対応も必要となっている。
			建設環境 課 環境係	③住宅新改築 補助申請件数	※完了ベース	5件	4	6 (10)	6 (16)	7 (23)	4 (27)	25	5年で25 件	○	前年まで6～7件の申請が3年程度続い ていたが、本年は以前と同様の4件の申請 であった。	昨年までの需要の伸びによって、申請 件数が減ったと推測される。 新築件数自体が少なく、補助金の利用 促進が難しいのが課題。	事前協議の簡素化を図り、補助事業の 周知の機会を増やすなど活用を促した い。
	施策4: 町 の豊 かな自然や田 園風景を継承 していく支援	◆美しい田園風景を維持するた め、国道・県道の環境整備を強く 関係団体に要望します。 ◆EVスタンド等の整備を図ること で、環境を考える町として地域に PRを図り、意識の啓発を行いま す。 ◆太陽エネルギーや小水力発電 等のクリーンエネルギー政策を検 討、支援を行うことで、美しい田園 風景を残します。 ◆小学校の上下水道施設の見学 や、美化清掃活動を小中学校及 び福祉施設で実施することによ り、環境美化の精神を育みます。 ◆空き家等対策の推進に関する 特別措置法や環境、地域性を考 慮しながら空き家の活用方法を 慎重に検討します。	建設環境 課 農林土木 係	①確かな暮ら し実現のため に行う道路整 備	道整備交付金 の町道改良工 事延長の合計	314Km	1.8	0.7	0.6	0.8	1.8	5.86	改良距離 5.86Km	○	地域再生計画を策定し、地方創生道整 備推進交付金を活用した路盤改良を含む 舗装修繕工事を年次的に実施し、R1が計 画の最終年度となった。	例年と変わらず、補助金交付率が低かつ たが、計画最終年度となり、残された路線 (3路線)を実施することができた。	計画最終年度のため、交付金交付率に 拘わらず、計画路線を実施し、計画した路 線全てを完了することができた。
			建設環境 課 農林土木 係	②福祉施設・ 小中学校による 美化活動実施 箇所数	箇所数 ※重複しない	4箇所	4	7	7	7	7	4	4箇所	○	R1 阿南高校1箇所、二中1箇所、学園4箇 所、富草寮1箇所	環境美化活動に協力をいただき大変あ りがたいが、福祉施設では利用者の高齢 化が進むなかで今後の活動が難しくなっ てきていると感じている。	できる範囲のご協力をお願いする。
			建設環境 課 上下水道 係	③上下水道施 設の見学	実績	1回(各校/ 年)	1	2	2	2	2	4	1回(各校 /年)	△	R1-大下条小、富草小、(一中職場体験)	和合、新野は実施なし。	毎年ではなかったが、富草、大下条、新 野は見学に来ていただいた。また、一中 の職場体験も行っていただいた。 和合小学校の実績を作ることができな かった。
			建設環境 課 環境係 振興課 振興係	④美しい田園 風景に取り組 む環境補助事 業の申請件数	生ゴミ処理機と 太陽光補の合 計	(H26 実績) 9件	14	8 (22)	6 (28)	7 (35)	9 (44)	50	5年で50 件	△	生ゴミ処理機と太陽光発電の申請件数 H31 生ゴミ1件+太陽光8件=9件	生ゴミ処理機補助の申請数が毎年減 少している。 太陽光は件数が増加しているが、売電 契約の関係による駆込み需要もあったた め、今後減少していく可能性がある。	数字で見れば目標の8～9割となつた が、H28年度以降は目標(年間10件程度) 以下の実績が続いているため、今後も引 続き事業の周知に取り組んでいく必要 がある。 特に生ゴミ処理機の補助については、 クリーンセンターの改良もあつてか需要 が低下したとも考えられるが、住民への周 知が不足していたと考えられる。
			総務課 企画財政 係	⑤空き家斡旋 に関する民間 との協定、仕組 みづくり	宅建協会	0団体	0	0	0	1	1	1	1団体	○	H30.10宅建協会と協定済み。 宅建協会の協定後に、5件の売買契 約、3件の賃貸契約が成立した。	契約に至らない空き家は、宅建協会の 利活用に努める。 したが、住むことができない判断の家が多 い。	今後も宅建協会との連携により、空き家 の利活用に努める。 利活用が難しい荒廃空き家の対応を検 討する。